

平成 24 年 12 月 11 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 e n i s h
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 杉 山 全 功
(コード番号：3667 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 松本 浩介
(TEL：03-5791-2131)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 24 年 12 月 11 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円、%)

	平成24年12月期			平成24年12月期 第3四半期累計期間		平成23年12月期	
	(予想)	構成比	前年比	(実績)	構成比	(実績)	構成比
売 上 高	3,985	100.0	53.9	2,856	100.0	2,590	100.0
営 業 利 益	590	14.8	12.2	463	16.2	526	20.3
経 常 利 益	581	14.6	11.1	463	16.2	523	20.1
当期(四半期)純利益	347	8.7	16.4	270	9.4	298	11.5
1 株 当 た り 当期(四半期)純利益	162円76銭			132円72銭		2,956円25銭 (147円81銭)	
1 株 当 た り 配 当 金	—			—		—	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。
2. 平成 23 年 12 月期（実績）及び平成 24 年 12 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。平成 24 年 12 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数（50,000 株）を含めた予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大 159,000 株）は考慮しておりません。
3. 平成 24 年 9 月 11 日付で株式 1 株につき 20 株の株式分割を行っております。そこで、平成 23 年 12 月期（実績）の 1 株当たり当期純利益については、平成 23 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した場合の数値を（ ）内に記載しております。

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年12月11日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東
コード番号 3667 URL http://www.enish.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 全功
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松本 浩介 TEL 03 (5791)2131
四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の業績 (平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,856	-	463	-	463	-	270	-
23年12月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	132.72	-
23年12月期第3四半期	-	-

(注) 平成24年12月期第1四半期より四半期財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	1,063	794	74.6
23年12月期	952	480	50.2

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 793百万円 23年12月期 478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	-	-	-	-	-
24年12月期	-	-	-	-	-
24年12月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年12月期の業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,985	53.9	590	12.2	581	11.1	347	16.4	162.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・☐無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：☐有・☐無
- ② ①以外の会計方針の変更：有・☐無
- ③ 会計上の見積りの変更：有・☐無
- ④ 修正再表示：有・☐無

(注) 詳細は、添付資料のP. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期 3 Q	2, 426, 400株	23年12月期	2, 020, 000株
② 期末自己株式数	24年12月期 3 Q	一株	23年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期 3 Q	2, 034, 832株	23年12月期 3 Q	一株

(注) 当社は、平成24年9月11日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成24年9月11日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による企業活動の低下により依然として厳しい状況にある中で、被災地においても復興需要による一部に回復がみられ始めたものの、欧州債務危機などを背景とした海外景気の下振れや歴史的円高の定着などにより、不透明な状況で推移いたしました。

当社の事業領域である、ソーシャルアプリ事業を取り巻く環境につきましては、平成24年3月のスマートフォン契約数は2,522万件、スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた携帯端末総契約数1億1,232万件に占めるスマートフォン契約比率は22.5%になり、平成27年3月には契約比率が過半数になると予測されております（株式会社MM総研調べ、2012年3月現在）。

また、国内ソーシャルゲーム市場は依然成長を続けており、平成23年度は前年度比1.8倍の約2,570億円、平成24年度は同1.3倍の約3,429億円に拡大すると予測されております（ユーザー課金ベース、広告収入除く。株式会社矢野経済研究所調べ、2011年12月現在）。

このような事業環境の中、当社ではソーシャルゲームタイトルのスマートフォン対応といたしまして、平成24年6月より、既存タイトルのAndroid（注1）及びiOS（注2）搭載端末向けにサービスを開始いたしました。

また、新規のソーシャルアプリの開発を行い、事業の成長を推進してきております。具体的には1月にリリースした「ボクらのポケットダンジョン2」や7月にリリースした「ドラゴンタクティクス」等があり、順調にユーザー数は拡大しました。

さらに、6月には株式会社サンリオウェブと共同事業として、当社ソーシャルゲームにおけるサンリオキャラクターアイテムの提供を行いました。今後もゲーミフィケーション（注3）を活用したキャラクターアイテムの提供や0 to 0（注4）プロモーションにより、様々な企業と積極的に提携を行っていく所存です。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は2,856百万円、営業利益は463百万円、経常利益は463百万円、四半期純利益は270百万円となっております。

(注) 1 Androidとは、米国Google社のスマートフォン向けOS（オペレーティングシステム）の名称です。

2 iOSとは、米国Apple社のiPhone/iPod touch/iPadに搭載されているOSの名称です。

3 ゲーミフィケーションとは、ゲーム制作でのユーザーを楽しませるノウハウをゲーム以外に用いて、ユーザーの購買意欲や満足度を高めることをいいます。

4 0 to 0とは、Online To Offlineの略でゲームにおけるユーザーのモチベーションやロイヤリティを利用して、実店舗における購買活動に結びつけ、実店舗の集客支援につなげる仕組みをいいます。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて63百万円増加し、972百万円となりました。これは主に、ソーシャルアプリ事業の売上高の増加による売掛金の増加（前事業年度末比180百万円の増加）の一方で、法人税等の支払いによる現金及び預金の減少（前事業年度末比136百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて47百万円増加し、90百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加（前事業年度末比17百万円の増加）及び投資その他の資産の増加（前事業年度末比22百万円の増加）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ110百万円増加し、1,063百万円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて207百万円減少し、260百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少（前事業年度末比160百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、前事業年度末に比べて4百万円増加し、7百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ203百万円減少し、268百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて314百万円増加し、794百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加（前事業年度末比270百万円の増加）及び新株予約権の行使による資本金の増加（前事業年度末比22百万円の増加）及び資本剰余金の増加（前事業年度末比22百万円の増加）によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における業績は、概ね想定どおりに推移しており、通期業績予想に変更はありませんが、今後業績予想の修正が必要と判断された場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

当第3四半期会計期間において株式分割を行いました。が、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	526,681	390,574
売掛金	344,478	524,780
その他	38,011	57,177
流動資産合計	909,172	972,532
固定資産		
有形固定資産	12,524	29,992
無形固定資産	4,053	11,660
投資その他の資産	26,554	48,996
固定資産合計	43,132	90,649
資産合計	952,304	1,063,181
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,959	26,379
未払法人税等	246,070	85,196
その他	190,494	149,282
流動負債合計	468,524	260,859
固定負債		
資産除去債務	3,271	7,438
固定負債合計	3,271	7,438
負債合計	471,796	268,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	83,000	105,427
資本剰余金	82,000	104,427
利益剰余金	313,176	583,233
株主資本合計	478,176	793,087
新株予約権	2,330	1,796
純資産合計	480,507	794,884
負債純資産合計	952,304	1,063,181

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
(自 平成24年1月1日
至 平成24年9月30日)

売上高	2,856,803
売上原価	1,822,566
売上総利益	1,034,237
販売費及び一般管理費	570,543
営業利益	463,694
営業外収益	
受取利息	74
その他	0
営業外収益合計	74
営業外費用	
為替差損	220
営業外費用合計	220
経常利益	463,548
特別損失	
固定資産除却損	1,688
特別損失合計	1,688
税引前四半期純利益	461,859
法人税、住民税及び事業税	208,857
法人税等調整額	△17,053
法人税等合計	191,803
四半期純利益	270,056

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期会計期間において、第3回及び第4回新株予約権の行使請求に伴い新株式406,400株の発行を行いました。この結果、当第3四半期会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ22,427千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が105,427千円、資本準備金が104,427千円となっております。